

## 基本理念の考え方

草津市多文化共生推進プランは、「草津市総合計画」を上位計画とし、各種個別計画と整合を取りながら策定を行っております。このことから、プランの基本理念につきましては、第6次草津市総合計画を基に、本市の現状と目指すべき方向性を踏まえて考えていく必要があります。

### (1) 本市の現状

草津市の外国人住民の数は平成28年(2016年)以降、急激な増加が続いており、令和2年(2020年)3月末時点で3,066人となっています。

今後の外国人住民の数は、日本全体として外国人入国超過数(入国者数－出国者数)の推移(参考:国立社会保障・人口問題研究所調査)において、令和17年(2035年)までは毎年約69,000人増加すると推計されていることから、本市においても、令和17年(2035年)までは一定数増加することが考えられ、この場合、令和7年(2025年)においては、約5,000人まで増加する(3.42%、33人に一人が外国人)と推計しています。(表1)

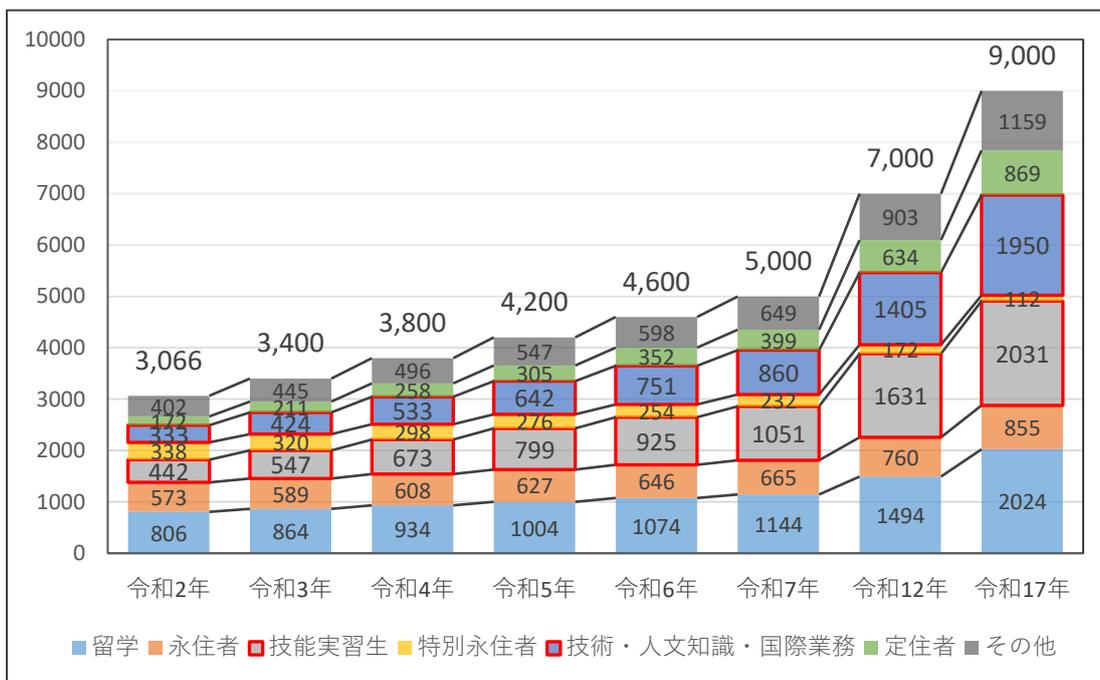
(表1:外国人住民の人口推移)

期末年	外国人住民	市内人口※ ↓	割合	(参考)外国人入国超過数
2020	※2 3,066	143,400	2.14%	69,047
2021	3,400			69,088
2022	3,800			69,123
2023	4,200			69,151
2024	4,600			69,175
2025	5,000	145,800	3.42%	69,195
2030	7,000	147,400	4.74%	346,168
2035	9,000	146,100	6.16%	346,636

※1 市内人口は第6次草津市総合計画基本構想(案)の人口の見直しによる。

※2 2020年の外国人住民数は新型コロナウイルス感染症により、出入国が制限されていることから2019年度末時点と同数としている。

(表2:在留資格別の人口推移)



外国人住民の流入はこれまで多かった「留学」だけでなく、「技能実習生」、「技術・人文知識・国際業務」といった労働力を補う方向で拡大しています。(表2)大学等を通じての関わりが主であった「留学生としての外国人住民」から、今後は「生活者としての外国人住民」として捉える必要があり、あらゆる生活の場面において外国人住民と日本人住民とのかかわりが生まれてきます。すべての日本人住民と外国人住民が、お互いの違いを認め合い、つながりを理解したり、関係性を築いたり、課題解決に向けて協働することで、共に安心して暮らせるよう、次のような多文化共生のまちを目指します。

## (2) どのような多文化共生のまちを目指すのか

### ① 将来こうしたい「コミュニケーションのあり方」

#### 【やさしい日本語での対応】

言葉の壁なくスムーズにコミュニケーションが取れるよう、日本人住民はやさしい日本語での対話を基本とし、必要に応じて多言語対応を行っている。また外国人住民が日本語を学べる環境が充実している。

### ② 将来こうしたい「安全で安心して暮らせる生活環境」

#### 【日常生活における支援の充実】

居住、就労、教育、医療・福祉・子育て、防災に関する情報が分かりやすく提供されている。特に防災については、外国人住民の自助力を高めるための意識啓発が行われている。また、すべての子どもが、等しく義務教育を受けられ、卒業後に向けた支援体制が整っている。

### ③ 将来こうしたい「地域づくり」

#### 【多文化共生を推進する地域・人づくり】

国籍の異なる人を受け入れ、互いの文化を尊重する地域づくりが行われている。また外国人に向けた取り組みの担い手となる人材発掘とネットワークの形成が進められている。

### (3) 多文化共生の関連ワード

#### ①第6次草津市総合計画基本構想(案)

- ・「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津」
- ・「こころ育むまち」「笑顔輝くまち」「暮らしを支えるまち」「魅力あふれるまち」
- ・「国籍や民族などの異なる人々がお互いの違いを認め合う」
- ・「地域の力結集」
- ・「すべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことのできる社会」
- ・「多様な人材が活躍できる、活気があふれるまちづくり」
- ・「共に地域の活動に参加できる多文化共生の地域づくり」

#### ②各種計画、滋賀県多文化共生推進プラン

- ・「異なる文化・習慣の理解」
- ・「暮らし、働き、学ぶすべての人が国籍や民族の違いにかかわらず」
- ・「相互に人権と個性を尊重」
- ・「多様性を生かして活躍できる多文化共生の地域社会」



### (4) 基本理念(案)

「“同じ”の共有と“違い”の理解で共に暮らしを支え合う地域づくり」